

ALPHA RESIN MK-968

■特長

- ・注型用ポリウレタンエラストマー
- ・硬度 Type-A 68
- ・常温硬化タイプ

■性状

製品名	MK-968A (主剤)	MK-900B (硬化剤)	備考
硬化色相	黄色		
外 観	淡黄色透明液状	赤褐色透明液状	
組 成	TDI プレポリマー	変性ポリアミン	
粘 度	5500 mPa・s	450mPa・s	25°C
比 重	1.06	1.19	25°C
混合比	100	50	重量%
可使時間	20~25°C / 500g スケール / 30~40 分		
離型時間	20~25°C / 12 時間		

■硬化特性

項 目		代 表 値	備 考
硬 度	(Type-A)	68	JIS K-7312
比 重	-	1.10~1.15	JIS K-7112
引張強さ	MPa	5.3	JIS K-7312
伸 び	%	780	JIS K-7312
100%モジュラス	MPa	2.1	JIS K-7312
300%モジュラス	MPa	3.0	JIS K-7312
引裂強さ	N/mm	9	JIS K-7312
収縮率	%	0.1	自社テスト

* 記載された特性値は代表値であり、保証値ではございません。

ALPHA RESIN MK-968A/MK-900B 使用方法

1		<p>紙コップなど混合用の容器をはかりの上に置き、目盛をゼロに合わせます。</p> <p>A液を必要量だけ計量します。</p> <p>※計量誤差範囲は、±3%以内にして下さい。</p>
2		<p>B液を正確に計量します。</p> <p>A液とB液の混合比は、重量比で 100 : 50 です。</p> <p>※ B液をA液中に入れたときから反応は始まっています。</p> <p>計量作業は素早く正確に行ってください。</p>
3		<p>A液とB液が均一に混ざるように、ヘラ等で攪拌して下さい。</p> <p>混合容器の側面や底は混ざりにくいので、特に注意して攪拌して下さい。</p> <p>攪拌作業は最低でも2分以上は行ってください。</p> <p>※本製品は混合してから、約30～40分で硬化が始まります。</p>
4		<p>型に、空気を巻き込まないように静かに流し込みます。</p> <p>※縮合タイプのシリコン型は硬化阻害を起こしますので使用しないでください。</p>
5		<p>室温にて硬化させます。</p> <p>硬化するときに発熱します。</p> <p>硬化後、型から取り出します。</p>

※A液・B液は水分を嫌いますので、混入及び湿気に長く接触させることも避け、ご使用後は必ず密封してください。

※A液は湿気と反応して変質及び硬化することがあります。変質及び硬化したものはご使用しないでください。

※B液に水分が混入した場合、成形品に多くの気泡が発生するようになります。